

令和3年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	<p>①カリキュラムマネジメントの視点を踏まえ、多様な生徒に弾力的に対応可能な教育課程を編成する。</p> <p>②学習意欲の高い生徒に対して、個別に支援できる体制をめざす。</p> <p>③言語活動の活性化、協働的な学びを展開し確かな学力を育成する。</p> <p>④資格取得の推進に向けた工業科の指導体制を整備し、受検数及び合格率の向上をめざす。</p>	<p>①生徒が自分の学力の向上、進路実現に向けた学習計画を立てられる。</p> <p>②学習意欲の高い生徒がより一層の向上心を持てるようになる。</p> <p>③ICTによる授業改善で生徒が「わかる喜び」「達成感」を感受できる。</p> <p>④生徒が資格取得の意義を理解し、チャレンジする。</p>	<p>①新学習指導要領の実施、及び建設科設置を見据えた教育課程の構築および年間指導計画を作成する。</p> <p>②学習意欲の高い生徒及び伸び悩んでいる生徒が、向上心を持てるよう外部サービスとの連携等を通して授業内容を充実させる。</p> <p>③タブレット端末を効果的に活用し、生徒それぞれの目標に応じた授業展開を目指す。</p> <p>④生徒の資格取得の推進に向けて、科を越えた指導体制を整備する。</p>	<p>①新学習指導要領の実施を見据え、進路希望等に応じられるように教育課程・年間指導計画を作成できたか。</p> <p>②生徒の学習意欲が向上したか。(アンケート調査等)</p> <p>③多数の生徒が「わかる喜び」「達成感」を感じられたか。(授業評価等)</p> <p>④生徒の受検・受講者数が増加したか。(昨年度比)</p>					
2 (幼児・児童・) 生徒指導・支援	<p>①基本的な生活習慣の定着と生徒が主体的に社会のルールやマナーの意味を考える指導の充実を図るとともに、潜在的ニーズにも対応可能な教育相談体制を構築する。</p> <p>②生徒の学校への帰属意識を醸成させるため、学校行事の改善及び部活動を活性化させる。</p>	<p>①生徒一人ひとりの学校生活が充実するようになる。</p> <p>②生徒が行事や部活動に主体的に関わり、自信を持つことができる。</p>	<p>①校内教育相談コーディネータ連絡協議会を開催し、困っている生徒に対して対策を練る。また、学習指導会議を改善実施し、支援教育を必要とする生徒の情報を共有する。</p> <p>②新入生向けの部活動紹介方法の改善や、新部活動の設置等を検討することで、加入率の向上、活性化を図る。</p>	<p>①支援が必要な生徒に対して対策を協議・策定できたか。また、教員間で情報を共有することができたか。(実施回数、学習支援実績の昨年度比)</p> <p>②部活動加入率は向上したか。新部活動設置に向けて準備は整ったか。(部活動加入率)</p>					
3 進路指導・支援	<p>①キャリア教育実践プログラ</p>	<p>①生徒が主体的に進路選択を</p>	<p>①進路選択の幅が広がるようなガ</p>	<p>①生徒一人ひとりが主体的に</p>					

視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
	ムに基づき、学校として体系的な進路指導を行い、生徒の進路実現をサポートする。  ②建設科の生徒に対応した、進路先(大学、企業)の開拓を着実に進める。	できるようにする。  ②生徒が職業観・勤労観を身に付ける。	イダンスを実施するとともに、ICTを活用した試験対策なども行い生徒一人ひとりの進路実現を目指す。  ②建設科設置に向けて、インターンシップ受け入れ先に建設業を導入する。	進路活動を行い、進路実現ができたか。(進路実績の比較)  ②生徒が建設業事業所で職業体験を行えたか。(実施事業所数、人数)					
4 地域等との協働	①地域と連携することを通して生徒のコミュニケーション能力の向上を図り、生徒の「生きる力」を育むとともに「共生」の意識を醸成する。	①生徒が「地域貢献」に関わり、共生及び安全に対する意識が向上する。	①生徒の課題研究において、防災・地域貢献を行う。	①生徒が地域との共生を意識できたか。(振り返りアンケート)					
5 学校管理 学校運営	①業務の効率化を図り、職員の働き方改革を推進する。  ②日常的に、事故・不祥事防止に係る研修会を実施し、職員に当事者意識を持たせるように努める。 ③職員の学校運営への参画意識の向上を図る。	①業務へのICTの活用を推進する。  ②職員の自己管理能力を高める。  ③企画会議にグループリーダー以外の職員も参加する機会を設ける。	①ICTを活用しての情報共有をすすめる、会議の回数・人数の減少、時間の短縮を図り業務の効率化を図る。  ②職員主体で事故防止研修を実施する。  ③企画会議にグループリーダー以外の職員が参加したか。	①会議の回数・人数の減少、時間の短縮が図れたか。(職員アンケート)ペーパーレス化はすすんだか。(消費量比較)  ②職員の自己管理能力・当事者意識は高まったか。(職員アンケート)  ③参加職員の学校運営への参画意識は高まったか。(職員アンケート)					